

## 議案第 1 号

# 平成22年度 財団法人上田市体育協会事業報告書

(敬称略)

平成22年度、当協会は市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践し、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことができる明るい社会と競技力の向上につながるスポーツ環境の整備を目指し、当協会加盟団体及び関係機関・団体等と連携し次の諸事業を実施した。

### 1 スポーツ活動の推進と行政との連携について

上田市が主催するスポーツイベント・スポーツ教室に協力するとともに市民のスポーツ活動の普及振興に努めた。また、今年度教育委員会が策定した「上田市スポーツ振興計画」を基本に計画の実効性を高めるため、昨年9月体育協会内に新たにビジョン検討委員会を立ち上げ、全国に先駆けて体育協会による“(仮称)うえだスポーツ振興ビジョン”の策定を目指し検討を進めた。

### 2 競技力向上事業の推進について

競技力の一層の向上を図るため、競技力向上事業補助金交付規定に基づき、以下の8団体に対して強化選手の指定を行ない競技力向上への取り組みに対し補助金を交付した。

また、上田市のスポーツレベルの向上を図るため指導者・審判員への支援体制についての現状把握のため加盟団体への予備調査を実施した。今後、補助対象に小中学生も含めることも視野に入れて検討を行なう。

[22年度強化選手]

- ① 上田陸上競技協会 (1団) 上田東御小県チーム
- ② 上田アーチェリークラブ (4名) 宮原雅 関一也 北沢義雄 林美月
- ③ ボウリング連盟上田支部 (2名) 竹下将弘 西島博
- ④ 上田乗馬倶楽部 (1名) 増田真七海
- ⑤ 上田レスリング協会 (8名) 金井由騎 橋本登 長崎宏樹 竹内徹  
宮島善太 小林龍太 荻原圭司 佐藤翔太
- ⑥ 上田剣道連盟 (3名) 大木恵満 澤田かおり 中島多恵
- ⑦ 上田柔道協会 (4名) 内山貴之 松井孝文 春日啓孝 勝見藤一
- ⑧ 上田市サッカー協会 (1団) F C上田ジェンシャン

### 3 青少年スポーツ振興及び育成事業の強化について

将来の上田市を背負う青少年のスポーツ活動を支援するため、市内スポーツ少年

団34団体が自主的で主体性のある活動を推進する中で団員の体力向上と健全育成に努めた。また、指導者の質的向上を図るため有資格指導者への支援を引き続き行うとともに指導者の講習会への参加や資格取得を促進した。

また、市内小・中学校及び保育園へ入団の案内チラシを配布し新規団員の加入を進めた。

○スポーツ少年団登録状況

年度	登録団数	団員数	指導者数
22年度	34団体（26種目）	2,093人	436人
21年度	34団体（26種目）	2,190人	436人

#### 4 体育施設整備の促進について

体育施設の整備については、行政において上田城跡公園内体育施設整備計画が策定されていないため、体育協会においても研究を行なう必要がある。このため、設置状況が類似している山形市の体育施設について研修を実施する予定であったが、東日本大震災により延期とした。今後の現地の状況を判断して実施して参りたい。

また、加盟団体に対して施設改善要望アンケートを実施し、市へ要望をおこない小規模修繕など幾つかの施設の改善が図られたほか、陸上競技場本部席・スタンドの改修、夜間照明設備の設置及び染屋台グラウンドの改修工事が進められた。

#### 5 各種大会・スポーツ教室・講習会・研修会の開催と支援について

市民総合体育大会は、市民のスポーツ活動への普及促進を図るため、15種目の競技に3,068人の参加があった。また、指導者や市民を対象にスポーツ講習会を実施したが参加者からの要望により3月に追加で講習会を実施した。今後は参加者のニーズに即応した内容の講習会の開催を検討したい。

○AED講習会（普通救命講習会）

- ・ 4月24日（土）上田市消防会館 13:00～16:00
- ・参加者数 28名

○前期講習会「ストレッチング講習会」

- ・ 4月15日（木）、22日（木） 城跡公園第二体育館 18:30～20:30
- ・講師 小嶋国彦氏（アスレチックトレーナー）
- ・参加者数 15日/28名 22日/27名

○後期講習会「テーピング講習会」

- ・ 9月 2日（木）・ 9日（木） 城跡公園第二体育館 18:30～20:30
- ・講師 小嶋国彦氏（アスレチックトレーナー）
- ・参加者数 2日/28名 9日/27名

○追加講習会「ストレッチング講習会」

- ・ 3月 5日（土）上田市自然運動公園総合体育館 13:00～16:00

- ・講師 小嶋国彦氏（アスレチックトレーナー）
- ・参加者数 29名

## 6 市民の健康体力づくり運動への支援について

市民が自主的で主体的な活動を行うことのできる環境づくりを目指し、「市民健康づくりの日」事業は着実に実施され、多くの参加者より好評を得ている。また、事業拡大を図るため、古戦場公園多目的室内運動場にてゲートボールを1月から3月までの冬期間実施し、577名の参加を得た。

また、7月29日には、佐久整形外科クリニック中村崇先生（理学療法士）による体力向上セミナーを開催した。

- 22年度 49回開催 延べ参加者数 5,797人
- 21年度 48回開催 延べ参加者数 5,554人

## 7 スポーツ交流の推進について

第13回「野球の日」野球大会を8月7・8日に開催し、上越市をはじめ県外からのチームを招き、少年軟式野球・少年硬式野球・中学校軟式野球を通じ青少年のスポーツ交流を実施した。

また、スポーツ少年団の東信地区剣道交流大会を8月22日に上田市で開催し、団員相互の交流を図った。

## 8 体育功労者及び競技優秀選手等への表彰について

本協会表彰規程に基づき、理事会で決定し、体育功労賞12名、栄光賞個人2名を表彰した。

また、今年度初めて全国大会等へ出場した選手の育成に尽力した指導者4名の皆さんに勲功賞の表彰を行った。

### ○体育功労賞受賞者（7名）

本田 文雄（軟式野球連盟） 市川 和義（ソフトテニスクラブ） 長井 文雄（スキークラブ） 勝見 藤一（柔道協会） 島津 鉄男（バレーボール協会） 岡島 秀治（ソフトボール協会） 小田中 茂（ゲートボール協会）

### ○栄光賞受賞者（3名）

林 美月（上田高3年）、中島 未歩（丸子修学館高3年）  
丸山 亮子（(株)松山）

### ○勲功賞（4名）

村上 正之（アーチェリークラブ） 金子 政夫（上田乗馬倶楽部）  
掛川 和彦（上田陸上競技協会） 井出 真一（レスリング協会）

## 9 国体選手の激励と壮行会の開催について

上田市から長野県代表として参加する国体の選手・監督・コーチ・トレーナーを激励するため、9月21日(火)に市役所本庁舎6階大会議室で体協役員・関係者42名の出席により盛大に壮行会を開催した。また、国体出場上位入賞選手による市長表敬(報告会)を実施した。

○第65回国民体育大会 千葉国体出場者数

【選手20名、監督3名、支援コーチ5名、派遣トレーナー3名、合計30名】  
陸上競技(8名) 水泳競技(2名) レスリング競技(11名) 馬術競技(2名)  
アーチェリー競技(4名) なぎなた競(2名) ボウリング競技(1名)

○上位入賞者

馬術競技 増田真七海(2位)、陸上競技 中島未歩(3位)、レスリング競技  
富岡直希(1位) 高橋龍太(3位) 長崎宏樹(5位) 竹内徹(5位) 竹花良二  
(5位)、ボウリング競技 武舎あゆみ(8位)

国体入賞者の市長表敬訪問の席上で、レスリングの選手から市長に対しロンドンオリンピックへの出場を目指したいとの決意表明がされた。

## 10 広報活動の推進について

体育協会広報紙「体協うえだ」の発行や市の広報紙を活用して市民への情報提供に努めた。「体協うえだ」は、読みやすく親しめる広報紙づくりを目指して、より一層の充実を図るため、丸子・真田・武石地域への配布を実施したい。また、広報媒体の充実を図るため、体育協会独自のホームページを作成した。今後は内容の充実を図って参りたい。

○第59号 平成22年 7月15日発行 9,000部

○第60号 平成22年12月15日発行 9,000部

## 11 県大会規模以上の各種競技大会開催に向けての誘致活動と開催支援について

「第24回上田古戦場ハーフマラソン」の開催支援や全国から180チーム参加の「全日本生涯野球大会」、「真田幸村ロマンウォーク」、「信州上田オープンテニス大会」など加盟団体の運営協力により盛大に開催され上田市の観光PRにも寄与した。

## 12 加盟団体組織の充実について

加盟37団体において自主的なスポーツ活動がスムーズに実施できるよう運営支援を行った。補助金の交付に当たっては、役員体制、総会(役員会)に提出した事業計画、予算書、事業報告、決算書などの資料提出を求めて執行していることから、全般にわたって適正な会計処理がなされ、改善されて来ている。

### 1.3 体育協会の統合について

体育協会の最大の懸案事項であった市内3体育協会の統合については、丸子体育協会、真田町体育協会との協議を通じ、統合に向けての基本的事項の合意が得られたので、平成23年4月1日仮調印式を行い、今後、詳細な協議を重ね平成24年4月1日の統合に向けて取組を強化したい。

### 1.4 賛助会員の募集拡大と財源確保について

当協会の諸事業について、賛助会員の理解を得るため体育協会広報紙への掲載を年2回に増やすとともに、財源確保のため財務専門委員会において、企業団体、個人等に対し賛助会員の加入促進を図った。

また、昨今の厳しい経済状況の中、財務専門委員会だけでの会員確保は難しいため、今後も加盟団体の皆さんの協力がより一層必要となっている。

○賛助会員の状況（平成23年3月31日現在）

年 度	会員数	金 額	継続会員	新規会員
22年度	270	270万円	258	8
21年度	272	273万円	265	7

### 1.5 スポーツ会館の建設について

スポーツ会館建設については当面凍結とし、上田市教育委員会体育課との更なる連携強化を図ることを最優先にして、体育協会事務局を9月27日に教育委員会やぐら下庁舎内へ移転を行った。

また、スポーツ会館建設構想については、今後予定される体育施設整備計画の策定なかで位置づけを研究したい。

### 1.6 スポーツに関する調査研究について

#### (1) スポーツ講演会の開催

上田市議会スポーツ振興議員連盟と共催し長野県教育委員会スポーツ課北村圭一スポーツ振興係長をお招きし「スポーツ振興の現状と今後の方策」についての講演会を開催した。

○期 日 平成22年11月10日（水） ○場 所 上田市教育委員会

○参加者 59名

#### (2) 上田市議会スポーツ振興議員連盟との懇談会の開催

議員連盟では、市内のスポーツ団体の活動を確認するとともに今後のスポーツ振興の参考にするため、上田市・丸子・真田町体育協会及び武石スポーツクラブとの懇談会を行った。

○期 日 平成23年2月16日（水） ○場 所 上田商工会議所

○参加者 36名

## 17 公益法人制度改革の検討について

新公益法人制度改革への対応については、総務専門委員会で研究をおこない3月の理事会・評議員会にて「一般法人」への移行が決まった。

- 平成22年 4月20日・地域振興事業団の新公益法人制度取組みについて
- 〃 5月14日・長野県体育協会の新公益法人制度取組みについて
- 〃 7月14日・長野県情報公開私学課公益法人個別相談会
- 〃 12月22日・長野県情報公開私学課公益法人個別相談会
- 平成23年 2月 7日・長野県教育委員会移行等に係わる相談会
- 〃 3月23日・(財)上田市体育協会理事会・評議員会

## 18 東日本大震災における義援金活動について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。協会では3月23日開催の理事会・評議員会において被災地の青少年の皆さんへスポーツ用具の購入にあてていただきたいとの主旨から物品指定寄付をお願いしました。お陰様で子どもたちの歓声と笑顔が復興への「元気の源」との考えにご理解とご協力を賜り、4月25日宮城県の5つの被災地の自治体の長へ義援金・支援物資を届けました。

## 19 他機関・他団体事業の協力について

- (1) 市民のスポーツ活動支援として、地域事業所及び学校のスポーツ大会への審判員派遣を加盟団体と協力して行なった。
- (2) (財)長野県体育協会の事業については連携協調を図りスポーツの振興に努めた。  
○長野県体育協会評議員 松沢征太郎 専務理事
- (3) 東信都市体育協会連絡協議会は、8月24日に上田市、小諸市、佐久市、東御市の四市体育協会により本市で開催し、菅平高原サニアパーク視察や各市提案事項の協議や情報交換を行い、東信地区4市の連携を図った。
- (4) 県下5市財団法人体育協会(長野・松本・岡谷・飯田・上田)事務局会議を上田市の提案により6月16日松本市で初めて開催し、各体育協会の課題である新公益法人制度改革移行についての情報交換をおこない、移行に向けた資料等の提供を受けた。
- (5) チャリティ・フィットネス実行委員会より体育協会納会の席上で自動体外式除細動器(AED)1台の寄贈を受け、事務局で管理を行い加盟団体へ貸与している。